

支部だより No.144

日本山岳会京都・滋賀支部

2021年 9 月 15日

次の山々へ

支部長 松下征文

長期の梅雨が過ぎ夏日、真夏日を越えていきなり連日の猛暑日が続きました(7月25日現在)。そんな中、東京2020第32回オリンピック競技大会が始まりました。無観客有観客と騒がれましたが無観客大会となりました。多くの選手にとっては声援が聞こえず物足りないかもしれないが実力を発揮してほしいですね。いずれにしてもTV見るだけ、ラジオ聴くだけの自分はどちらでもいいが臨場感は感じられません。

二回の新型コロナワクチン接種を済まされた方も多いかと思われますが、今まで以上に気を付けましょう。 猛暑日や高齢化による体力低下等々で、山行意欲が低下しないように毎日少しずつでもトレーニングを続けましょう。

夏季休暇を利用して国内遠征登山を楽しまれたことと思います。富士山や日本アルプスでは遭難が多発しています。当事者とならないようにしっかりトレーニングと健康管理を行い、いつの日か実現させたいと思う目標の山やルートに向かってトレーニングを続け成果をあげていただきたいですね。ちなみに自分の若き日の目標はアルプスやヒマラヤでのクライミングでした。そして仲間五人でヒマラヤの西端に位置するアフガニスタン、当時のソ連邦、中国、パキスタンとの国境地帯にある中部ヒンズークシュの6000m級の山々へ登りに行きました。忘れられない素晴らしい思い出となっています(山岳:1971)。京都滋賀支部でも計画しましょう。

比良のイン谷口や坊村明王院前で登山者に気を付けて行くように声掛けをしていますが、多くの方が自分は大丈夫と思って登っていきます。本当にそうならば良いのですが、そう思えない方も登って行きます。その日に登った数百人の中から遭難者が出ます。若者は聞いてくれます。中高年は難しいお歳ですね。登山口での注意は聴きましょう。

自分で高齢と自覚している方はいいのですが、どう

見ても高齢者と思われる方が高齢と自覚していないというのが現状のようです。無事下山してくれればそれでいいのですが、残念ながら若い方も結果良ければそれでよしと、済ませています。

若い方は登る自由と義務。危険と困難。非常食と予備食の違いを考えたことはありますか、山行の折々に考えてみましょう。

私達は多くの先輩会員に接し、話を聞き、著書を読み知識を増やしていけます。古い話と聞き捨ててはいけません。古いと思われる中から新しきものが芽生えてきます。古道調査で改めてそのようなことを強く感じています。友の会の方にも是非各種山行計画に参加して山の楽しさをより深く味わってほしいと望みます。

これからはさわやかな登山日和を楽しめるでしょう。 古道調査山行もますます面白くなってきます。

雪の便りが届いたら皆さんと共に、美しく厳しい雪 山へ向かいましょう。

テント泊山行

富士写ヶ岳、小倉谷山、火燈山

古谷英二

私も3回目のテント泊山行となる。湖西道路から敦賀インター、福井北インターを経て、無料の中部縦貫自動車道に入り、永平寺参道インターを出る。テント泊地までの最終であろうコンビニに入り食料とアルコールを…そうだ水も購入する。

そして北面の我谷ダムへ回り、ダム湖の赤い吊り橋の上から遥かに富士写ヶ岳の秀麗な山容を望み、今晩のテント地、火燈山(ひともしやま)登山口の大内峠駐車場に着く。

結論から先に言おう "なんてすばらしい駐車場だ" に尽きる。先ずトイレが綺麗、臭いがしない、常時、 谷水で便器を流しているからである。また谷水を引いて、「この水は飲み水ではありません」と表示こそあったが、煮沸すれば全然問題はない。また、広い東屋があり、前夜祭?の時、雨は降らなかったが、降っても

問題にならない。この駐車場は、大内会という旧大内 村住人の方たちが定期的に周回をされているのだ。い やはや、なんて親切な大内会の方たちだろう。

二日目、山行の朝、5月に入ってから不安定な天候が続き、怪しい天気になりそうだったが予想は的中した。まさにスタートしようとしたその時に、雨は降り出した。待つこと1時間半、何とか雨も上がりようやくスタートする(8:32)。

さて、今回のコースだが、大内川登山口から時計回りで先に急登である富士写ヶ岳を目指すか、反時計回りで、だらだらとしたアップダウンの多い火燈山から小倉谷山を経て富士写ヶ岳を目指すかを前日に検討した。下山してきた地元の登山者の意見も参考にして、結論として前者、先ず急登を済ませて目的の富士写ヶ岳に登り、時計回りに周回することとなった。

大内川登山口から急登に次ぐ急登であった。椿とシャクナゲとタムシバとミツバツツジの咲く急峻な南西尾根を、随所に張られたロープの助けも借りて登り、前衛峰を越えて、ほぼコースタイム通り2時間13分で、標高942.0m、一等三角点点名富士写ヶ岳の頂に到着した(10:45)。空は快晴になったのに、今朝の雨のためか水蒸気が多く眺望は得られない。人気の山なので我谷ダム登山道からの若者グループなど登頂者が多い。山の日記念事業として石川支部など数団体で建立された立派な方位盤が注意をひいていたが、三角点には関心のない若者も多く、一等三角点の講釈をし、同研究会の宣伝もする。三角点を前に記念撮影を行い、昼食



我谷ダムからの富士写ヶ岳

を摂る。

昼食後、富士写ヶ岳山頂から真南に火燈山を目指して急な尾根道を下る。このルートは、日本山岳会石川支部が切り開かれたもので、「不惑新道」と呼ばれており、毎年刈り払いなどコースの整備をしておられるという。なだらかな尾根かとおもっていたが、予想以上に険しく、連続する小ピークのアップダウンに苦労させられた。ボディブローのように足に来るが、福井・石川県境尾根とのジャンクションピークへの急登を頑張って、13時半、ようやく小倉谷山に到達する。三等三角点 点名 伏拝。白山信仰の行者の遥拝所であったのだろう。しかし折あしく白山の峰は望めなかった。

ここまで来れば難所は過ぎて火燈山も近かった。南西の方角には丈競山(たけくらべやま)(地の方であろう登山者に聞く)等が…振り返れば、富士写ヶ岳が見える。この頃にはほぼ快晴に近かった。そして、大内峠から駐車場へ無事帰着できました(15:44)。予定していた山中温泉は、スタートが遅れたこともありキャンセルして一路京都を目指しました。

富士写ヶ岳には今回の大内谷川登山口以外に、我谷(わがたに)登山口や、九谷(あの九谷焼で有名な)登山口もあり、またチャレンジしてみたいなぁなんて思っています。

活動データ: 距離: 8.6km 累積標高: ± 1,037m/1,037m 消費カロリー: 3,014kcal

実施日:2021年5月8日(土)~9日(日)

参加者:田中昌二郎 (L)、(友の会) 古谷英二 (SL)、 今中三恵子



富士写ヶ岳一等三角点を前に

歴史と文化の山旅

明日香村

伊原哲士

歴史と豊かな自然が息づく明日香は「日本の心のふるさと」とも呼ばれている。その裏では、都市開発の波から明日香を守る為に村人の様々な努力がなされていた。そして明日香村の住民は、この危機を乗り越えるために、全国に向けて声を上げていく。「明日香時代は中国文化を日本流に消化、吸収した時代です。明日香を現代から未来に残す為に考えて下さい。『明日香古京法』という特別な法律を作って、何よりも村民が誇りを持ってこの村に住めるようにして下さい」。奮闘する明日香村を訪ねた。

朝10時、近鉄・吉野線壺阪山駅改札前に集合の筈だったが、何のことはない。壺阪山駅は近鉄でもローカル線だ。乗り換えの橿原神宮前駅で全員バッタリと会ってしまった。

壺阪山駅に着くと少し時間が取れそうなので、「2時間ほど掛かりますが、山城の高取城を往復しましょうか」と提案した。過去、支部の例会でも取り組んだことがあるらしく、その際に参加した野村誠人さんが高取城の石垣を登攀したという。京都からこの例会に参加した「吞兵衛」の某氏により却下された。「歴史と文化の山旅」は体力の消耗よりも「癒やし」を求める人が多いのかもしれない。

壺阪山駅からキトラ古墳へ向かう。数年前に野鳥の会の例会でオオタカを目撃した。「オオタカのような猛禽類が出没するので、明日香村は自然が随分と戻ってきているようだ」と思った。「平成の市町村大合併」の頃、明日香村は隣接する橿原市との合併を拒んだ。結果として、高層の建物が皆無だ。宅地造成もされていない。遠い日の日本の風景が残っているので、何故か安らぎと郷愁を覚える。亡くなられた田部井淳子さんも「日本もスイスのように景観を大切にしなければ」と提唱していた。様々なものが壊される中、「未来へ残す大切なもの」があるということを忘れてはならない。

キトラ古墳は、唐文化の影響の少ないことから遣唐使帰国前の7世紀から8世紀初めの古墳と推測されている。高松塚古墳に続き日本で2番目に発見された大陸風の壁画が残る古墳である。壁画は国宝。高松塚古墳が発見された時、地元から「近くにも似たような古墳がある」と告げられ発掘調査をすると、大発見だった。阿部山の中腹にある二段築成の円墳で、上段が直径9.4m、下段が直径13.8m、高さは上段・下段あわせて4mと推測されている。被葬者は天武天皇の皇子もしくは高官クラスと

される。

「キトラ」名前の由来は、諸説ある。古墳の中を覗くと亀と虎の壁画が見えた為「亀虎古墳」と呼ばれたという説。古墳の南側の地名「北浦」がなまって「キトラ」になったという説。明日香村阿部山集落の北西方向にある為、四神の北をつかさどる亀(玄武)と西をつかさどる虎(白虎)から「亀虎」と呼ばれていたという説など、いろいろな説がある。国営のキトラ古墳壁画体験館・四神の館を訪ねた。キトラ古墳の天井に描かれた天文図は現存する世界最古の天文図だ。現在と変らない北斗七星などの星座、太陽や月、天の赤道や太陽の通り道の黄道が正確に描かれている。たかが1400年の人類の営みなど、天(宇宙)からすれば刹那の出来事に過ぎない。

キトラ古墳から北面の阿部山に登り高松塚方面の明日 香村の風景を眺める。この「登山」の登り時間は数分。 軟弱だが、いいか。阿部山から高松塚古墳に向かう。

高松塚古墳は、盗掘を免れた銅鏡から藤原京期(694年-710年)に築造されたと確定した。終末期古墳である。直径23m(下段)及び18m(上段)、高さ5mの二段式の円墳。1972年に極彩色の壁画が発見されたことで一躍注目された。壁画は国宝。被葬者は未定。被葬者の歯や顎の骨から年齢は40代から60代の初老男子とされ、天武天皇の皇子の、705年に47歳で薨去した忍壁皇子が有力とされている。高松塚古墳から中尾山古墳へと歩く。中尾山は15分程度の登り。今回の一番ハードな登りだ。(笑)

中尾山古墳は天皇陵級の古墳の八角墳。対辺長約19.5m・高さ4m。墳丘周囲には三重の外周石敷が巡らされたが、近世に近隣の住民に持ち去られた。中尾山古墳は、古墳時代終末期の8世紀初頭頃の築造と推定された。最近の発掘調査で、横口式石槨を有する最高級の火葬墓(火葬墳)であることから第42代文武天皇(707年薨去)の真陵と断定された。被葬者が解るのは珍しい。

文武天皇は草壁皇子 (天武天皇第二皇子、母は持統天皇) の長男。父・草壁皇子は皇太子のまま薨去。この為、



明日香村にて

天皇位は持統天皇が継ぎ、孫の文武天皇につないだ。『古 事記』の「天孫降臨」神話は、「帝位を子ではなく孫へ 継がす話しを正当化する為」に挿入されたという説もあ る。

帰路は、橿原市の居酒屋で「遭難」した。京都も大阪も新型コロナウイルスの蔓延禍での「緊急事態宣言」でアルコールは制限されている。それとは関係のない奈良県で「野郎」のみが「般若湯による反省会」を開催して散会した。冒頭の「吞兵衛」の某氏の「この為に参加した」というような笑顔が忘れられない。

実施日:2021年5月15日(土)

参加者:伊原哲士(L)、能田 成、能田直子、幣内規男、

山田和男

春のスケッチ

嵐山より愛宕山を描く

山田和男

計画の時、日曜日の観光地、相当な人出が予測され心 配したがコロナ禍の緊急事態宣言、さらに早い梅雨入り で静かな嵐山になったのではないか。

前日の天気予報で晴れ。阪急電鉄嵐山駅に本日の参加 者が集合した。松田先生はこの方向からの愛宕山をイ メージされなかったそうで企画したものとしてはうれし かった。雲が多く山には影があり明るさはなかったが 徐々に青空が広がり美しい愛宕山が渡月橋の向こうに大 きく聳えた。参加者は一時間余り熱心に絵筆を走らせて いる。雲の動きで山の影が変り尾根や谷筋がよく見える。 私は早々に書き終えたが宇都宮さんは丁寧に熱心に書い ておられる。その宇都宮さんからそして一人ずつ先生の 評を聞き手直し指導を受ける。遠近感の出し方、山の尾 根や谷の陰影を描き山が立体的になる。毎回同じような 指導を受け私の成長の無さを痛感する。

早めに昼食にする。嵐山には人出は有るが休んでいる店が多い。1000円から1500円のそば定食のメニューが全て特別料金900円の看板に魅かれて店に入り私は天ざるととろろ飯の定食を美味しく頂きました。先生が引っ越しされた長野の西日の入らない家選び、長野での冬の過ごし方、氷との闘い、近くからのスケッチ生活の話を聞きながらの食事となりました。

実施日: 2021年5月23日(日)

参加者:松田敏男、中川 寬、宇都宮道人、山田和男

平日例会山行

金糞岳 1317m ~白倉の頭 1270.7m (二等三角点 深谷 1)

田中昌二郎

金糞岳を最高点とし、その西に位置する三角点峰・白倉の頭(白倉岳)から西へ連なり、巳高山の北を大きく回り込んで、高時川水系の木之本町古橋集落まで下る長大な尾根には確たる径は記されていない。この尾根の末端、式内 與志漏(こしろ)神社から2回に分けて藪尾根をトレースして五郎の頭(標高点1103m)まで到達したが、今回はその残った部分を金糞岳から逆に辿ろうとしたものである。

アプローチは、R303から八草トンネルを抜けて岐阜県に入り、広瀬から浅又川の林道を登って鳥越峠手前の駐車場に着く。滋賀県側・中津尾の急な林道を登るよりずっと快適であった。

9:10 登山開始、金糞岳に伸びる中津尾に上がりブナ林の尾根を登って大朝の頭を越えて金糞岳頂上に着くと、美濃の深い山々、懐かしい蕎麦粒(そむぎ)が迎えてくれた(10:10)。西を見れば深いコル・オオセコを隔てて緑の中に白い岩峰を配した白倉の頭(白倉岳)が迫ってくる。ボリュウムのある立派な山容だ。急な下降路の底にオオセコを示す標識があり、ここから深谷を下ることは危険との注意書きが親切である。見上げると白い岩峰はかなり大きいが、それぞれに補助ロープも設置して



オオセコからの白倉の頭

あり快適に通過できた。笹と灌木の白倉の頭 二等三角点 点名深山1に着く (11:05~11:15)。しかしこの頃から空模様が変わってきた。次々と雲が沸き上がり、更に西南には黒雲まで湧いてきている。一昨日の夜半に自宅で雷鳴と雷雨の通過を受けたことが頭をよぎる。標高1200mを越える稜線での雷は何としても避けたい。とりあえず八草出会いまで急いで下る (11:30)。赤色の鉄板に「八草出会い」と白字で明記した標識が立ててあり、「八草峠へ2時間」との案内もある。昼食をとりながら雲の行方に注意するが、やはり大事をとり引き返えそうと衆議一決する (出発12:00)。

高度差 100m あまりの登りを急ぎ、白倉の頭到着 (12:20)、休憩もそこそこに下降してオオセコ (12:45)、 更に登り返して金糞岳に到着、やれやれと大休止とした (13:05 13:20)。

心配した雨雲はどこへ行ったのか辺りに見えない。心配し過ぎたのかもしれないが、この歳になって失態は出来ないのでと言い合いながら、中津尾のブナの木陰を下って登山口駐車場に無事帰着した(14:10)。

「八草出合い~五郎の頭」間が宿題として残ってしまったが、八草峠から五郎の頭を目指すプランも浮かんで、かえって良かったと思っている。

浅又川沿いの林道を快適に下り、金糞岳北尾根を目指 してスキーを担いで渡渉したあたりを懐かしく眺めなが ら帰路を急いだ。

実施日:2021年6月17日(木)

参加者:田中昌二郎(L)、奥 克彦(SL)、

(友の会) 古谷英二



白倉岳頂上にて

山歩会例会

朝日山・丁塚山

宇都宮道人

三か月ぶりの例会、今回は亀岡の里山、二山に登る。 天候はくもり、夕方から雨の予報。JR 亀岡駅、午前9時に集合、クルマに分乗し神藏寺に向かう。神藏寺駐車場にて山歩会世話役、中川さんよりご挨拶、今回のリーダーの紹介、ルートの説明また参加者の自己紹介。

午前9時35分、登山開始(標高154m)。泰山木の白い大きな花が香る。紫陽花も美しい。初めは緩やかな上り、じょじょに傾斜が増す。9時55分、ザックを降ろし休憩。よく整備された道、石などもなく歩きやすい。10時30分、尾根に出た(標高433m)。10分ほど休憩ののち、北の方向に尾根道を登る。10時55分、ピーク(標高455m)に至る。ここが朝日山らしい。西に方向を取り三角点を目指す。倒木があり跨いだりくぐったり。踏み跡もやや不明瞭。11時8分、三等三角点に到着、標高441.7m。雑木林の中、展望はなし。集合写真を撮影し、往路を戻る。12時ちょうどに神藏寺から上がってきた尾根の鞍部まで戻り昼食。谷の向こうに能勢の山並みが見渡せる。鳥の声、空の音、木々の清々しさ。

12 時 40 分、丁塚山に向け出発。一列になって尾根道を南に向かい、13 時ちょうど林道に出る(標高394m)。林道を南東に1.5km ほど下り、13 時 40 分、丁塚山を望める地点に至る。がアプローチのルートに迷う。国土地理院地図に記載の山道が不確かに思われる。相談の上、リーダーが決定、南西方向から山頂へのアプローチを選び、林道から尾根道に取り付く(標高292m)。倒木が多く道が荒れていて進むに苦労する。小さなアップダウンを繰り返す。踏み跡、赤テープにGPSアプリなど頼りにルートを確かめながら進み、14 時 50 分、丁塚山、



朝日山頂上にて

標高 357m に到着。ここも眺望はなし。

ふたたび集合写真を撮り、15時6分、下山開始。北東方向へ国土地理院記載のルートをたどる。急な坂をどんどん下る。途中、倒木や道の崩れた箇所があり、まどう。

空き缶が大量に捨てられている。ゴミ捨て場か。15 時 40 分、住宅地に出た(標高 101m)。そこから 3km ほど、田んぽの間や民家の脇を歩き、16 時 35 分、神藏寺駐車場に戻り、山行を終えた。

今回の山行は、進む方向が変わり、ルートの定めにくいところもあって、地図とコンパスまた GPS を使った読図、現場の状況の判断の大切さをあらためて実感する機会となった。低山の山行であっても、計画段階で情報を集め、地図をよく見てルートの概念を描いておくことが、現場での判断を助け、重要かと思う。(かっこ内の標高は目安です。)

実施日:2021年6月22日(火)

参加者:大倉寛治郎(L)、中川 寛(SL)、岡田茂久、

上田典子、宇都宮道人

(友の会) 橋本裕子、馬場信枝、京極明美、

川嵜紀久子

巨木探訪シリーズ

福井県越前市・池田町 (自然保護部会6月例会)

中川 寛

今月は、福井県の越前市、今立郡池田町の巨木を探訪。 いつものように 8:30 四条大宮を出発し、大原から朽木、 マキノから追坂峠を越えて敦賀へと走り、北陸自動車道 で武生に到着。まず越前市へと向かう。

最初の巨木は、越前市中居町白山神社のバラ杉。境内には杉の大木が多くあるがその中の最大のものがバラ大杉と呼ばれている。樹齢は推定500年、幹回り7.2m、高さ32mの巨木で福井県の天然記念物に指定されている。針葉が短く開出し、小枝の分岐する角度が大きく、一見して枝先がバラバラに見えるので、このように名づけられた。また、幹は太くなるが枝は細く垂れるので、雪害に対して強く、雪国向けのスギ苗の母樹として珍重されているとのこと。

次は、池田町常安の日野宮神社の逆杉。池田町指定の 天然記念物で推定樹齢300年以上、幹回り9.5m、高さ35mの大杉だが、根本から大きく2幹に分かれていて、1本が落雷による損傷で失われている。数本の枝が大きく下垂しているのが逆杉と呼ばれる理由のようだ。日野 宮神社は、欽明天皇15年(554年)創建と伝わる古社で、 ピラミッドのような三層の石垣に載った本殿には社宝・ 黒塗り狼木造が収蔵されていて狼神社と呼ばれている。 中々の風格だ。

ちょうど昼時となったがこの辺りには食事をする店が なく、途中道の駅で買った弁当を拡げた。

3本目は池田町清水谷の清水谷八幡神社の杉。大杉は 社殿に向かって左手の社叢にあり、推定樹齢200~300 年、幹廻り6.8m、高さ40m。写真でわかる通り、樹勢 盛んな大杉であるが天然記念物など特別の指定はなく、 地元ではあまり知られていないようであるが見ごたえの ある大杉だ。

4本目は池田町広瀬の八幡神社の杉。推定樹齢 100~200年、幹回り 5.2m とまだ成長過程の杉であった。

本日予定の最後は、池田町山田の八幡神社にある大ケヤキ。池田町指定の天然記念物で、推定樹齢800年、幹回り7m、高さ35mの巨木で、写真でわかるように根本は大小無数のこぶに一面覆われており、独特の風格を備えていた。

池田町は岐阜県境に近い山間の町だが、各地区に八幡神社の鎮守の森があり、そこに巨木があるのは日本の原風景を見るようで興味深かった。

実施日:2021年6月30日(水)

参加者:山村孝夫(L)、岡田茂久、柏木俊二、方山宗子、

中川 寛



清水谷八幡神社の大杉



山田の大ケヤキ

歴史と文化の山旅

斑鳩の里

伊原哲士

長い梅雨が突然に明けた。7月17日は快晴であった。 今回の歴史と文化の山旅「斑鳩の里」は、参加が3名と 言うことで、少し予定を変更した。当初はJR法隆寺駅 から松尾山を往復して法隆寺近辺の斑鳩の里の史跡を巡 る予定だった。同じ道を辿るのは面白くないだろうから、 近鉄郡山駅に集合して松尾山から法隆寺に降りるコース に変更した。

朝9時に近鉄郡山駅に集合した。猛暑が予想された。駅から30分ほど路線バスに乗り、松尾寺口で下車。アスファルトの長い登りを松尾寺まで歩く。中川さんと私はゆっくりと歩く。暑さに辟易とした幣内さんが「松尾寺までのバスはないのかいな」とぼやく。「盆とか年末年始、2月3月の初午の縁日など大きなお寺の行事の時は臨時バスが寺まである。普段は皆さん車で来るからバスは基本ないです」と応える。

長いアスファルト道から山門に到着する。山門の脇には「松尾寺の湧水」があり各自のどを潤す。最後の長い石の階段を登り、松尾寺の境内に入る。山号は松尾山ま

たは補陀洛山で本尊は京都の清水寺と同じ千手観音。『松尾寺縁起』によれば、養老2年(718年)に天武天皇の皇子・舎人親王42歳の厄除けと当時編纂中の『日本書紀』の完成を祈願して建立されたという。故に「日本最古の厄除け寺」と言われる。何故かユリ(カサブランカ・コンカドール)の鉢植えが多数置かれていて、多くの参詣者が見物に来ていた。

松尾寺は本堂と木造大黒天立像は国の重要文化財。大 黒天立像は普段知る福神としての大黒天ではなく、イン ドの武神マハーカーラー面影を残す猛々しい表情であ る。日本三大黒のひとつに数えられている。本堂伽藍から秀麗な三重塔が見える。三重塔の裏手には修験道の行 場が残る。室町時代には吉野の金峯山を主たる修行の場 とする修験道「当山派」の拠点として栄えた。寺には山 伏の最高位である正大先達を中心とする組織「正大先達 衆」関連の古文書が多く残る。

NHKの電波塔が建つ松尾山山頂、行場など1時間程度で巡れる。「行きますか」と聞くとお二人とも暑さで乗り気でない表情。梅雨明けの低山はこの時期は高齢者には辛い。法隆寺西院伽藍からの松尾山に至る旧い参道があり、その道を下ることにする。参道跡の為、木洩れ日の中の快適な山道だ。所々に「七曲がり」と言う古道が地元有志により復活している。

ゴルフ場横を抜け、斑鳩の田圃の中にある仏塚古墳にたどり着く。仏塚古墳は一辺23m・高さ4mの方墳で横穴式石室がある。6世紀末頃の築造。出土遺物は亀甲型の陶棺片、金環、馬具、土師器、須恵器など。中世に仏堂とて再利用され残った。「仏塚」の名前はここから来た。

田圃の中に多くの田螺が見える。支部自然保護委員長でもある幣内さんが「低農薬が進み田圃にも生物が戻ってきているのかなあ」と呟く。稲穂の横に葡萄の房のような形の朱色の頑丈そうな卵がある。「これは」と聞くと幣内さんは「カマキリの卵やろ」と答える。私の記憶のカマキリの卵とは違う気がした。後日、調べてみた。

日本由来のタニシは「絶滅危惧種II類」とされており、ほぼ絶滅状態だった。斑鳩の田圃で見たのは外来種のスクミリンゴガイだった。「ジャンボタニシ」とも呼ばれる。日本には1981年頃に食用として台湾から和歌山県と長崎県に持ち込まれた。2年後には養殖場が35都道府県500カ所に広がったが、食味が悪く採算も取れなくなり、各地で廃棄され、逸出した。田植えの頃の稲を食するので各地で被害が広がっている。三重県では田植え後の田圃の苗がスクミリンゴガイに食べ尽くされ「溜め池」のようになったと報告されている。地球温暖化で、ライチョウの卵をニホンザルが食べに来るなど、自然のバランスが崩れている。自然破壊の原因は全て人類由来だ。自然環境を守る一番早い方法は「人類が滅ぶことだ」という笑えない話もある。自然破壊は止められないとしても、

自然との共存を意識した取り組みくらいは出来るだろう と思うが、斑鳩のタニシの事象一つを取っても暗澹たる 思いになる。

法隆寺と中宮寺の間を抜けて藤ノ木古墳にたどり着 く。低山とはいえ、松尾山はそれなりに涼風を感じたが、 藤ノ木古墳辺りは熱風だ。藤ノ木古墳の「藤ノ木」は所 在地の地名由来。法隆寺関係の古文書では「陵山」と呼 ばれていた。畿内での前方後円墳の造営の終わり頃の古 墳。法隆寺の近辺に在り江戸時代まで陵堂と呼ばれる建 物があり墓守により管理されていた。厳格に保護されて いた為、未盗掘。家型石棺に成人2名の男性被葬者が合 葬されていた。被葬者は諸説あるが、副葬品や埋葬の様 子、『日本書紀』の記述との一致から聖徳太子の叔父で 蘇我馬子に暗殺された穴穂部皇子の可能性が高い。もう 一人の被葬者は蘇我馬子が東漢駒に暗殺させた第32代 崇峻天皇の可能性が高い。藤ノ木古墳は天皇家クラスの 古墳であること。天皇が亡くなった時は通常は一年くら いの「殯(もがり)」をおこない慰霊する。その間に墳 墓を造営する。崇峻天皇は「殯」はおこなわれず即日埋 葬された。墳墓が間に合わない為、前に暗殺された兄の 穴穂部皇子の石棺に急ぎ合葬されたと推測される。この 後、斑鳩文化財センターに立ち寄り、藤ノ木古墳の石棺 内部のレプリカがあり、この奇妙な合葬の説明をした。 崇峻天皇と思われる被葬者の冠は人為的に折られてい た。墓守のことと考え合わせると暗殺という不慮の死を 遂げた被葬者の「怨霊封じ」と考えると辻褄が合う。法 隆寺も梅原猛氏によれば、不幸に滅んだ聖徳太子一族の 上宮王家の「怨霊封じ」「鎮魂の寺」とも言われている。

帰路は、猛暑の中を法隆寺駅まで歩いた。王寺駅まで行き、近鉄に乗り換え、竜田川沿いの近鉄東山駅から徒歩3分の音の花温泉に行った。音の花温泉は料理旅館だったが廃業。温泉と料理のみが残り、隠れた秘湯。ナトリウム-炭酸水素塩温泉。温泉博士の幣内さんも初めて入ったと言うのが少し嬉しい。

実施日:2021年7月17日(土)

参加者:伊原哲士(L)、中川 寛、幣内規男

健幸登山教室第4回

鈴鹿神崎川沢登り

友の会 上野陽子

楽しみに待っていた初沢登り。道の駅臨時駐車場に集合し2台に分乗して神崎川林道入口へ行く、身支度を整え出発、和やかに話しながら緩やかな林道を行く。左手に仙香谷が見えてきた。はるか下に大きな岩のある神崎川が見える。取水口で先発メンバーは川に下り、松下リーダーと私はそのまま林道を進む。途中、木や山のこと、崩れた崖を見て落石注意や、右岸左岸を教えられる。途中休憩で行動食のこと等を聞く。初めて聞く話は楽しく勉強になる。

瀬戸峠登山道手前の谷から川に下りる。降りたところがカラト谷出会いの少し上流、わぁきれいな水、心も洗われる。ヘルメットをかぶり先発組の登ってくるのを待つ。大きい石のゴロゴロしている澄んだ川を見て心が躍る。ところどころ強い流れが見える。大丈夫かな、リーダーが一緒なので大丈夫、ワクワクして待つ間に歩き方を聞く。しっかり石を踏めば滑らない、苔が多くぬめる所は気を付けて、靴底に砂が付くと滑る等々。30分ほどで先発組と合流しいよいよ川に入る。

わぁ冷たい、汗をかいた後なので気持ちいい、の声が あちこちから聞こえる。楽しくて笑う。リーダーの後を しっかりついて歩く。

強い流れに足を取られ思うように歩けない。ザックを 背負った体を片足で石の上に持ち上げられない。本当に 滑らないかフエルト靴を信じきれない。筋力の無さを痛 感しつつ皆さんから離れないように頑張って歩く。

胎内くぐりと呼ぶところに着いた。行ってみたらと リーダーに言われ皆に続く。体をかがめ頭すれすれで勢 いよく上から水が流れる中、1mほどの岩を登ってくぐ り抜けた。できたー、やっと皆と同じことが出来て嬉し い。気持ちも元気に進んで行く。少し難かしいとこは私 のために水のない端っこの大きな岩の上をリーダーと遠 回り。日の当たる大きな岩の上で昼食。谷間は涼しい風 が吹いていて快適。昼食後エメラルドグリーンの瀞、キ ラキラ輝く水面に木々の緑に青い空、美しい自然に感激 しながら歩く。大きめの岩に強い流れ、ロープを繋いで 教わった通り岩を押さえるようにして上がる。大きな観 音開きのような崖に出る (ゴルジュ)。自然って凄いな あと感動する。腰ベルトを外してザックを担いだまま泳 いで渡る所が増えてきた。みんな水が激しく流れる小さ な滝を登る。私は端の大きな岩の上で見守る。ロープを 繋ぎ岩の後ろでしっかりロープを握るメンバー、真上か ら後ろから良い場所の指示をするサブリーダー、激しい

シャワーを浴びてなかなか上手く登れないメンバーを皆が大声で応援する。何度かで登り切ったガッツに拍手喝 采、一丸となる気持ちに感動。

大きな岩を登る時リーダーがロープを繋いだ。もし私 が転んだら一緒に落ちてしまう。山の責任を感じた。

岩場が狭まり日影が増えてきた。いよいよ近い。最後の満を泳いでやっと天狗滝に到着。みんな滝つぼに入って楽しそう。ロープを繋いで滝つぼへ近づく、滝に打たれて滝裏に入った。ぐいと体を持ち上げ裏見の滝って所にきた。

中州で集合写真を撮って大満足、帰りは身軽に岩を踏み楽しく安全に下った。書ききれないほど沢山の事を教わった。

川から瀬戸峠への急な登山道をヒグラシ聞きつつ林道 へ出た。川ではアカハライモリ、カエル、山ではタマゴ タケ、ヒルを初めてみた。

林道途中で休憩した時に念のため靴を脱ぐ、私の足に ヒルが、満腹したのかすぐ外れた。みんなが笑う。

いろんな初体験で充実の初沢登りだった。また行きたいと思うのもメンバーのおかげと思う。これからも元気に楽しく参加できるよう筋トレに励み、健幸登山教室のモットー「健康な生活と山登りが出来る幸せ」を目標に過ごしたい。本当に楽しい一日、大変お世話になりありがとうございました。

神崎橋 8:00 集合—8:45 出発—取水口 9:36—瀬戸峠手前 10:10—合流地点 11:10—天狗滝 14:09—沢離れ 15:40—神 崎橋 17:30

実施日:2021年7月25日(日)

参加者:松下征文(L)、村上 正(SL)、土井文雄(SL)、 松下征悟

(友の会) 米森晶一、工藤史子、上野陽子

山歩会例会

繖山(観音寺山432.7m)

馬場信枝

当初計画では「繖山と安土山」の2山の予定のところ、連日の猛暑と熱中症のリスク、参加者の年齢等考え、無理をせず安土山をやめて「繖山」だけに変更となり、参加者も山歩会としては珍しく4人と少ない山行となりました。

さて、当日の気温は34度、直近の日々より2度ほど低く雲も風も適度にあり、カンカン照りを覚悟していたので山中は木々の影もあって意外としのぎやすく歩け

た。が、この山は観音正寺の参道が登山道となっている とかで、どのルートも階段で整備の様子。低山ではある が登山口すぐから頂上までほとんどが階段は結構辛いも のがあった。IR 安土駅から市民バスで文芸の里まで乗車。

9時54分 まだ紫陽花の残っている登山口をスタート、20分ほどで分岐しっかり水分補給休憩。次の石仏の道分岐を二等三角点のある頂上へ、11時20分到着。

地元の女性グループが先客、集合写真を撮ってもらう。 眺望は三上山や田園風景など楽しめここで早い目のお昼 タイム。今日のお昼タイムのトピックス!大倉さんの最 新ファッション、扇風機付きジャケットの披露で盛り上 がり、初めて間近で拝見、涼しそう!!

12 時 25 分出発。西国観音霊場第 32 番札所の観音正 寺参拝後、観音寺城本丸跡や石垣に歴史を感じつつ桑実 寺へ、(1 時 45 分着) この桑実寺も古く開創 1300 年天 智天皇勅願所と由緒ある天台宗のお寺。因みに寺名は此 地において日本で最初に養蚕技術を広めた為、また山号 の繖山は蚕が口から糸を散らしマユを懸けることに因ん だものだということ(パンフレットより)。休憩後山裾 のバス停目指して最後の階段 15 分、残念ながらバスが ないので安土駅まで 30 分歩くことに。最初から最後ま で階段の連続、とどめが照り返しの強烈な車道歩き、絶 対熱中症にはならないようにと、残念ながら歴史をしの ぶ余裕のない山行でした。

3時10分全員無事安土駅に辿り着きました。歩行距離6キロお疲れさまでした。

実施日:2021年7月27日(火)

参加者:中川 寛(L)、大倉寛治郎、馬場信枝

(友の会) 京極明美



繖山二等三角点にて

大文字山納涼山行

中川 寛

支部だより行事案内に、コロナウイルス対策で緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が出た場合は中止と案内していたが、京都には週明け8月2日から蔓防が発令されるとあって、ギリギリセーフで実施できた。

蒸し暑い猛暑の中、さて何人の参加があるかと銀閣寺前で待っていると、三々五々ご家族や友人を含む13名の参加者が集い、17時30分に大文字山に向かって出発した。小さなお子さんの参加もありゆっくりと歩を進めた。火床に着いた時には京都の町が見下ろされ、夕日を背にした愛宕山も見渡せたが、残念ながら夕立の雲が広がり始め、いつものような素晴らしい景色を楽しむことはできなかった。それでもしばらくは雨雲も大文字山までは来ず、途中から津田さん、関本さんも加わり、いつものように食事や飲み物を楽しみながら話に花を咲かせ、参加者それぞれが自己紹介をして交流を深めることができた。やがて雨が降り出したが、小やみになった20時に火床を後に下山した。

帰りは銀閣寺道から市バスに乗ったが、何か催しがあったのか岡崎公園から若い女性客が大勢乗ってきて、 積み残しがでるほどの満員になったのには驚かされた。 若い人たちが活発に動き、コロナ感染が広がっていることを実感した。

実施日: 2021年7月31日(土)

参加者:中川 寛(L)、笠谷 茂、関本俊雄、津田美也子、 松下征文、

> (友の会)上野陽子、仲井照雄、野崎貴子、 (一般)7名

山の本屋と古書店

山書会 松下征文

京都は大学の街といわれるだけあって書店や古書店が 多い。遠くからこれらのお店に来る方も多い。

山の新刊書では四条河原町を東に入ったところに海南 堂があったが今はない。北大路に行くとナカニシヤ出版 がある。各出版社の本は河原町の丸善がいい。

Amazon で注文すると在庫があれば翌日には届き、オ

ムニセブンで注文すれば指定のセブンイレブンで受け取れる。そのため街の書店が閉店の憂き目にあっている。 しかし、一乗寺の恵文堂のような個性的で楽しい雰囲気 の店舗もふえてきている。消費者としてはありがたい。

古書店も随分閉店してしまった。仕事で時間待ちに古書店があれば入る。入ると何か収穫がある。表の 100 円均一の台を見てから入るのが自分のやり方だ。山の本以外の面白い本や記憶に残っている表題等を見つけて前書きやあとがきを見て買うかどうかを考える。

京都の古書業界が開催している古本祭りは一人で見て 回るのだが実に楽しい時間で、暇があれば開催ごとに行 く、同じ本が店によって売値が違うこともしばしばで仕 入れ値で決めているのだろうが店主の関心の違いかな。 催事販売しかやっていない店もある。亀岡から来る小亀 屋さんもそんなお店で山の本も扱っている。

寺町通りに大観堂があり、ここが山の本を多く取り揃えている。昨年横積してあったのを書棚に収められて探しやすくなった。

京都大学の東側に築100年以上の白亜荘というアパートがある。ここの二階に山書専門の「軟弱古書店」がある。忘れようのない店名だ。建物が大正時代なので落ち着いた趣のある作りだ。小さな入り口を入ると入口を除き四壁面本棚である。店主は中山さんで長年登山を続けているとの事、僕の欲しい古書が並んでいる。不定期に開店なのでHPでチェックして行かねばならない、近くにコインパーキングもあり落ち着いて楽しめる。当面は通ってみたい軟弱古書店である。

会員の方も山の本を読みましょう。電子本より紙の本 がいいね。

面白くて楽しい古書店や本屋さんを紹介してください。

甲斐駒ケ岳黒戸尾根往復 テント泊1泊2日

松下征悟

2019年2月、赤岳鉱泉アイスキャンディフェスティバルのトークショーで七丈小屋花谷氏から甲斐駒ケ岳の話を聞いた。そして今年の2月、オンラインイベントの抽選会で甲斐駒ケ岳が彫刻されたロックグラスが当たった。グラスを見ながら、今年の夏は甲斐駒ケ岳に登ろうと考えていた。夏を前に相変わらず続くコロナ渦、県外への移動に悩みつつもテント泊での単独行を計画した。

7月16日、早く仕事を切り上げて帰宅したいが、そんな日に限ってなかなか職場を離れられない。深夜、尾

白川渓谷駐車場につき出発まで仮眠をとった。

7月17日、朝5時、駒ヶ岳神社で山行の安全をお祈りし出発する。吊り橋からのスタートは、現実世界との境界のようでわくわくするが、渡るやいなやいきなりからつづら折りの登りが始まる。呼吸と心拍数を整えながら歩き進めていく。梯子場で混雑するのを避けるため少し早めに出発したので、他の登山者も少なく、鳥のさえずりとキツツキのドラミングの音が響く森を自分のペースで歩くことができた。

6時40分、笹の平分岐点を通過、さらに1時間ほど 登り 1881m の小ピークを巻いて尾根に出たところで視 界が広がった。青空に鳳凰三山のオベリスクと富士山が 見え、登り3時間の疲れが吹っ飛んだ。美しい眺望を楽 しみながら「刃渡り」を通過。少し変化のある道を楽し めたのも束の間で、またまた登りが始まる。この辺りか ら梯子が所々に現れる。9時30分、五合目小屋跡に着く。 満開のハクサンシャクナゲが疲れを癒してくれる。五合 目から先は梯子の連続で楽しい。傾斜の急なところも整 備された梯子のおかげで、安心して登ることができた。 10時30分、七丈小屋に到着。チェックインの手続きを 済ませ飲み放題の天然水を補給してテント場に進む。こ のまま頂上を往復しようかとも考えたが、雲があがって きたので、テントを設営し、ゆっくり昼食をとり少し横 になった。17時、心配だった雨もなく雲も晴れた。明 るいうちに夕食を済ませ、夕日と富士山の眺望を楽しむ。

7月18日午前0時、寒さと眠気と戦いテントから出る。 見上げると、天の川と満天の星空が広がっていた。テント泊で来て良かった。

午前3時、ヘッドライトを灯して山頂のご来光に向けて出発する。八合目御来迎場を過ぎたあたりからハイマッ帯になり山頂や周りの山々が見え始めた。

午前4時、地平線が明るくなり、九合目2本の刀が立 つ大岩を見つける。バックには富士山、この景色がみた かった。

午前4時30分登頂、ご来光にも間に合った。360度のパノラマを楽しみながら朝食をとる。食事を済ませて少し、摩利支天に向かって進んでみたものの、もう一度登り返すのが辛いと思い、景色の良いところで写真を撮り山頂に引き返す。摩利支天から八合目に抜ける道もあると聞いたので、きちんと調べてまた挑戦したい。登りでは暗くて見えなかった眺望を写真を撮り楽しみながらテント場に戻る。テントを撤収し、約5時間のこれからの下りに気持ちを引き締める。長い下りで後半は膝や太もが辛かったが、午前11時30分、無事に下山した。

実施日:2021年7月17日(土)~18日(日)

支部所有の図書について

竹下節子

松下支部長より支部だより 143号で紹介された通り、「山書会」が新たに発足いたしました。「山書会」の活動目的は、"やま本を読み紹介するという集まり"です。会員の皆様が世代を超えて仲間を増やし、本を語り、山を語り、多くの山々に活動が広がって行くことを願い発足いたしました。

今年度より、京都・滋賀支部所有の蔵書の保管・管理 を図書担当委員として私が行うことになりました。山書 会の活動に、支部が所蔵している蔵書を活かせないかと 考えております。

蔵書の貸し出し等を担当させていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。一度ホームページに掲載しております蔵書一覧をご覧いただければと思います。

【山書会】

◎運営の概要

- 1 蔵書一覧をホームページNEWS & TOPICSへ掲載。
- 2 蔵書の貸し出し。
- 3 お薦め図書を支部便りに紹介。

◎役割と担当

- 1 蔵書一覧 HP 作成・・浅原委員
- 2 蔵書貸し出し・・・竹下図書担当
- 3 お薦め図書選定・・京都・滋賀支部会員
- ・メインの活動は蔵書貸し出しと図書紹介です。
- ・お薦め図書の紹介は京都・滋賀支部会員より随時募 集しています。
- ・「やま本を語り、山を語り」山へと広がる活動を「山 書会」支部会員で行います。

まずはホームページで蔵書一覧を覗いてみてください。

- ➡山岳(日本山岳会 発行分) I
- →読み応えある様々な山岳書① II-1~4
- ➡読み応えある様々な山岳書② Ⅲ-1

以上の蔵書一覧を次ページに掲載しました。

- W W W	リスト 70周年記念復刻①). A B G	B B			-1
作品名				発行	于 年	代
	# #	発行者	明治	大正	昭和	Ü
山岳 第1年	発行編者 日本山岳会	化學体验	39			H1
山岳 第2年	"	"	40			
山 岳 第3年	"	"	41			
山岳 第4年	"	"	42			Γ
山岳 第5年	"	"	43			Г
山岳 第6年	"	"	44			Г
山 岳 第7年	"	"	45			Г
山 岳 第8年	"	"		2		t٦
山岳 第9年	"	"		3		<u></u>
山 会 第10年	"	"		4		
山 島 第11年				5		- -
山 岳 第12年	 			6	 	 - -
山 岳 第13年	 			7	 -	⊢-
山 岳 第14年	 			8	 	+-
山 岳 第15年	 			9	- -	+-
					<u> </u>	╄-
山 岳 第16年				10	<u> </u>	Ļ.,
山 岳 第17年	"			11	<u> </u>	Ļ.
山 岳 第18年	"	"		12	<u> </u>	L.
山岳 第19年	"	"		13	<u> </u>	H1
山 岳 第20年		"		14	<u>L</u> _	L.
山 岳 第21年	"	"		15	L.	<u>L.</u>
山 岳 第22年	"	"		L_	2	<u>L.</u>
山 岳 第23年	"	"			3	
山 岳 第24年	"	"			4	Γ
日本アルブス 第1巻	小島 鳥水	前川又三郎	43			St
日本アルブス 第2巻	"	"	44			Γ
日本アルプス 第3巻	"	"	45			\prod
日本アルブス 第4巻	"	"		4		Γ
日本山徽忠	編者 高頭 式	大橋新太郎	39			SS
雪・岩・アルプス	藤木 九三	坂口保治			5	Γ
山 研究 と 随想	大島亮吉	岩波茂雄			5	Г
尾瀬と鬼怒沼	武田久吉	坂口保治			5	Γ
山 行	槇 有恒	山本 英		12		Γ
THE JAPANESE ALPS	Wolter weston	Jon Murray	29			Г
氷河と万年曾の山	小島久太	坂口保治			7	Ľ
アルベン行	處子木員信	小谷保太郎		3		St
ハイランド	辻村伊助	坂口保治			5	Γ
スウイス日記	辻村伊助	坂口保治		Π	5	Γ
北の山	伊藤秀五郎	岡 茂雄			10	Γ
日本风景論	志賀重昴	施宜田魚	27			SS
山 の 愧ひ出 上巻	小慕理太郎			Π	13	S5
山の 愧い出 下巻	"				13	S5
黑部峡谷	冠松次郎	北原鐵雄		ГТ	3	St
日本の山岳名著 解題	日本山岳会編			T		SE
† ¶	†			\vdash	<u> </u>	Ħ
日本アルプスと秩父巡禮	田都重治	中土義敬		8	⊢-	SE

				<u>-</u>		
	作品:	名	著者	発行者		- 行 年 大正昭:
à	星かなるヒマラヤ		浆師義英	岡本隆人	П	4
*	パール・ヒマラヤ	探検記録	日高信六郎 川喜田二郎	野間省一		4
Ŀ	マラヤの高峰	第一卷	源田久弥	果林 茂		3
Ŀ	マラヤの高峰	第二卷	深田久弥	果林 茂		3
Ŀ	マラヤの高峰	第三卷	深田久弥	果林 茂	П	3
Ŀ	マラヤの高峰	第四卷	深田久弥	果林 茂	П	4
٤	マラヤの高峰	第五卷	深田久弥	果林 茂	П	4
- ≱	年検と冒険	1	編者 朝日新聞社	朝日新聞社·角田秀雄		4
	年検と冒険	2	編者 朝日新聞社	朝日新聞社·角田秀雄		4
	集検と冒険	3	編者 朝日新聞社	朝日新聞社·角田秀雄		4
\$	集検と冒険	4	編者 朝日新聞社	朝日新聞社·角田秀雄		4
*	東検と冒険	5	編者 朝日新聞社	朝日新聞社·角田秀雄		4
*	東検と冒険	6	編者 朝日新聞社	朝日新聞社·角田秀雄		4
*	架検と冒険	7	編者 朝日新聞社	朝日新聞社·角田秀雄		4
*	架検と冒険	8	編者 朝日新聞社	朝日新聞社·角田秀雄		4
1	切登攀行		松本龍雄	岡本陸人		4
ı	山と雪の日記		板倉勝宣	坂口保治		
Ŀ	山岳省寮		今西鄉司	八坂淺太郎		1
Ŀ	マラヤ登攀史		源田久弥	岩波雄二郎	Ш	3
*	皆き日の山行		ルイ・ラシュナル ジェラール・ エルゾーグ (訳者)近藤等	草野貞之		3
- 7	プロードピーク		マルクス・シュムック (訳者)横川文雄	新島義昭		3
7	クラコルムへの道	<u> </u>	加集減平	加藤正夫		3
ž	单独登攀		瓜生卓造	渡辺次郎	\top	4
*	っが青春はヒマラ	ヤの頂	田村宏明	野間省一	Ħ	4
٦.	山の詩集		鳥見迅彦	果林茂		4
4	≢の山		安川茂雄	新島義昭		3
3	七極圏一万二千	キロ	植村直己	阿部支太郎	П	5
- A	多北に駆ける		植村直己	阿部亥太郎	П	
Ų	ピア砂漠探検部	E	石毛直道	野間省一	П	4
	食が糸		(監修)派田久弥 三田幸夫	明文堂	1	3

** 6 6 6	歳 書 リスト 1〜	<u> </u>	Œ	
作品名	著 者	発行者	発行 明治大正	
グルジャ・ヒマール	1969官山ヒマラヤ登山隊 (編集)薬師義美	1969富山ヒマラヤ登山隊	77.57.1	Ī
セントエライアスとマッキンレー		関西登高会		t
森林·草原·氷河	加藤泰安	坂本矩样		t
ダウラ・ヒマール・遠征	日本山岳連盟ヒマラヤ登山隊	爱知県山岳連盟		t
シャー・イ・アンジュマン登	大垣市ヒマラヤ委員会 (編集)井上孝二	大垣市ヒマラヤ委員会 山本庄一		T
マナスル西豊	高橋 煕	樫原雅春		t
アンナプルナ日記		京都大学学士山岳会		t
わたしの山旅	複 有恒	岩波雄二郎		Ť
カラコルムを越えて	ヤングハズハンド (訳者)水口志計夫	角川源義		Ť
我が愛する山々	深田久弥	佐藤亮一		Ť
ザイルのトップ	ロジェ・ブリソンロッシュ (訳者)近藤 等	草野貞之		Ť
岩の呼ぶ声	華木久三	斎藤一男		Ť
山と探検	今西錦司	極原雅春		T
日本の岩場	小森康行	伊藤沆		T
ヒマラヤ巨峰初登頂記	マリオ・ファインティン (訳者)牧野文子	岡本隆人		T
モン・ブランからヒマラヤへ		草野貞之	ПТ	T
アンデスの白い鷹	加藤幸雄	岡本隆人		T
アルプスの三つの壁	A・ヘックマイヤー (訳者)安川茂雄	二見書房		T
無償の征服者	リオネル・テレイ (訳者)安川文雄・大森久雄	二見書房	ПТ	T
あるガイドの系譜	安川茂雄	竹內官子	ПТ	T
挑戦者	第 II 次RCC編記録	岡本隆人	ПТ	T
マッターホルン北壁	小西政艦	川橋吉蔵		I
ジャヌー北壁	小西政艦	寺村五一		Ī
星と嵐	ガストンレビファ(訳者)近藤等	草野貞之		I
山を考える	本多勝一	增田義彦		
冒険と日本人	本多勝一	二葉書房		I
悲劇の山 栄光の山	深田久弥	極原雅春		Ī
たった一人の山	浦松佐美太郎	上林吾郎		Γ
エペレスト登頂 遥かなるエペレスト	J・ハント W・H・マイヤー 田辺主計・望月達夫・山崎安治	岡本隆人	TT.	T

<u>т</u>	# B B B	蔵 書 リスト 61~	90 🕒 🕒	JAC京都滋賀支	
				発行 年代	:
\angle	作品名	著者	発行者	明治大正昭和平	
61	処女峰アンナプルナ	エルゾーグ (訳者)近藤等	草野貞之	35	
62	ヒマラヤの灯	官原 義	半藤一利	57	
63	積雪期登攀と設営技術	第 II 次RCC編修	岡本隆人	43	
64	人工登撃とスーパー・アルピニズム	第 II 次RCC編修	岡本陸人	43	
65	岩登り技術	阿都和行	伊藤 後流	39	
66	ヒマラヤ	德岡孝夫	高木金之助	39	
67	ネパールの高地にて	ノーマンハンディ (訳者)神原 達 牧野 登	新島幸男	35	
68	女ひとりのアラスカ	# 荣	樫原雅春	44	
69	山に逝ける人々	春日俊吉	新島義昭	39	
70	ガネッシュの蒼い氷	吉野無道 上田 豊 木村雅昭 島田喜代男	朝日新聞社 足田郷一	41	
71	登攀技術の実際	山本價	岡本正一	36	
72	氷河への旅	文 源田久弥 写真 威見武寿	新島昭雄	34	
73	わが回想のアルプス	安川茂雄	竹內静江	43	
74	いのちの山	古川純一	二見書房	42	
75	幻想のヒマラヤ	村井 英 港 泰三	冬樹社	44	
76	岳人講座①冬山	監修 諏訪多柴蔵 跡部昌三 高須 茂	伊藤 流	40	
77	剣 立山 黒部	編者 諏訪多栄蔵 山崎安治 安川茂雄 山口耀久	黑吉力雄	36	
78	白馬不帰鹿島槍	編者 諏訪多栄蔵 山崎安治 安川茂雄 山口躍久	黑吉力雄	36	_
79	北岳 甲斐駒 赤石	編者 諏訪多景蔵 山崎安治 安川茂雄 山口耀久	黑吉力雄	36	
80	インカの山をさぐる	竹田吉文	新島章男	35	٦
81	垂直に挑む男	吉尾 弘	川崎吉蔵	41	
82	ヘディン探検紀行 1 ベルシアから中央アジアへ	ヘディン (訳者)金森誠也	中森幸雄	54	
83	ヘディン探検配行 2 アジアの砂漠を越えて(上)	ヘディン (訳者)横川文雄	中森李雄	54	
84	ヘディン探検紀行 5 除路インドへ(上)	ヘディン (訳者)羽鳥重雄	中森季維	54	
85	ヘディン株検配行 6 陸路インドへ(下)	ヘディン (訳者)斎藤明子	中森李維	54	_
86	ヘディン教授紀行 11 熱河 - 皇帝の都	ヘディン (訳者)羽鳥重雄	中森季雄	53	
87	ヘディン中央アジア 探検配行! アジアの砂漠を越えて	ヘディン (訳者)横川文雄	草野貞之	43	
88	ヘディン中央アジア探検紀行4 トランスヒマラヤ(上)	ヘディン (訳者)青木秀男	草野貞之	42	
89	ヘディン中央アジア探検紀行5 トランスヒマラヤ(下)	ヘディン (訳者)青木秀男	草野貞之	44	
90	ヘデル中央アジア探検配行11 探検家としてのわが生涯	ヘディン (訳者)山口四郎	草野貞之	43	

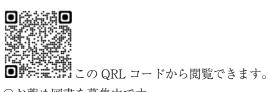
_			1	発行 年代
/	作品名	著 者	発行者	明治大正昭和 4
91	処女母アンナブルナ コン・ティキ号探検記 中央アジア振検記	エルソーク ヘイエルダール ヘディン	井上辰三	47
92	きたぐにの 動物たち	本多勝一	增田義彦	44
93	極限の民族	本多勝一	大田信夫	42
94	実験漂流記	アラン・ボンパール	近藤 等	40
95	空白の五マイル	角體唯介	館孝太郎	
96	ソロ 単独登攀者山野井泰史	丸山直樹	川崎告光	
97	後は帰らず	佐藤 稔	川考告光	55
98	ボクのザイルの仲間たち	小西政維	川場告光	62
99	アルビニズムと死	山野井泰史	川崎深雪	

山村	* b b b	蔵書リスト 1~5	6 6	JAC京都滋賀支部
7	作品名	着者	発行者	発行 年代
$\frac{2}{1}$	ナムナニ	編者日中友好納木那尼峰 合同登山隊	関根 望 毎日新聞社	明治 大正 昭和 平点
2	納 木 那 尼	日中友好納木那尼峰編 合同豊山隊	毎日新聞社	61
3	カンペンチン	京都大学学士山岳会	毎日新聞社	58
4	ノシャック 登頂	京都大学学士山岳会	朝日新聞社 伴俊彦	36
5	ヤルン・カン	京都大学学士山岳会	朝日新聞社 角田秀雄	50
6				

≪おしらせ≫

○京都・滋賀支部の新しいホームページに蔵書一覧が掲 載されていますのでご覧ください。

NEWS & TOPICS に紹介されています。



- ○お薦め図書を募集中です。
- ○蔵書を貸し出しています。どしどしお申込みください。

宿 事 累 肉

- ◇山行への参加申込は、例会名、会員番号、氏名、年齢、電話番号等、緊急連絡先および山岳保険の加入・ 種類など必要事項を記入の上、郵送または FAX で。
- ◇「★マイカー分乗」の山行は参加者の自家用車利用を予定しています。ご協力をお願いします。
- ◇思わぬところで遭難事故が発生します。車両保険と同様、また、ご家族のためにも山岳保険の加入は登山者の常識です。会員各位のご理解をお願いいたします。

新型コロナの感染状況により変更となることがあります。

健幸登山教室—7 比良権現山~蓬莱山

日 時: 2021 年 10 月 17 日 (日)

集 合: 栗原 8:30 (参加者と打ち合わせの上決定)行 程: 栗原→霊仙山口→権現山→小女郎峠→蓬莱

山(往復)

地 形 図:1/25000 図「比良山」 **山行の目安**:体力 3、技術 2

内 容:読図と計画、歩行技術、遭難事例

担 当 者:松下征文

申 込:10月5日(火)までに所定事項記入の上、

メールで担当者まで。

参加費: 友の会―1500円 受講生―2000円

を山入門 1─マキノ赤坂山

日 時: 2021 年 11 月 14 日 (日)

集 合:マキノ高原駐車場

行 程:駐車場→寒風→高島トレイル→赤坂山→駐

車場

地 形 図:1/25000 図「海津」、「駄口」

山行の目安:体力3、技術2

内 容: 冬山準備 (冬山装備、冬山の楽しさと危険)

担 当 者:松下征文

申 込:11 月 5 日(金)までに所定事項記入の上、

メールで担当者まで。

参加費:友の会―1500円

受講生-2000 円

健幸登山教室―9 冬山入門 2―比良蛇谷ヶ峰

日 時: 2021 年 12 月 12 日 (日)

集 合: てんくう温泉駐車場

行 程:駐車場→ P552 →カツラ谷分岐→蛇谷ヶ峰

(往復)

地 形 図:1/25000 図「北小松」

山行の目安:体力 3、技術 2

内 容: 冬山入門 (積雪状況により内容変更有)

担 当 者:松下征文

申 込:11月20日(土)までに所定事項記入の上、

メールで担当者まで。

参加費: 友の会―1500円

受講生-2000円

健幸登山教室─10冬山入門3─伊吹山(2021年度修了山行)

日 時:2022 年 1 月 23 日 (日)

集 合:上野三宮神社

行 程:三宮神社→ (夏山一般ルート往復)

地 形 図:1/25000 図「関ヶ原」

山行の目安:体力 4、技術 3

内 容: 冬山入門 **担 当 者**: 松下征文

申 込:1月10日(月)までに所定事項記入の上、

メールで担当者まで。

参加費: 友の会―1500円

受講生-2000 円

第5回 武奈ケ岳の日

日 時:2021 年 12 月 14 日 (火)

集 合: 比良イン谷口8:00

行 程:イン谷口→大山口→金糞峠→コヤマノ岳→

武奈ケ岳→同ルート下山

地 形 図:1/25000 図「比良山」

山行の目安:体力 4、技術 2

担 当 者:松下征文

申 込:11月30日(火)までに所定事項記入の上、 メールで担当者まで。

山歩会例会

高取山

日本三大山城の高取城址へ

時: 2021 年 10 月 26 日 (火)

集 合:近鉄壺阪山駅 9時40分

行 程:壺阪山駅⇒壺阪寺→五百羅漢→高取山(高 取城址)→五百羅漢→壺阪寺⇒壺阪山駅

山行目安: 体力 2、技術 2

地 形 図:1/25000 図「畝傍山」

担当者:中川 寛

申 込:10月19日(火)までに所定事項記入の上、 FAXまたはメールで担当者まで。

小塩山(642m)

京都西山を訪れる

日 時: 2021 年 11 月 30 日 (火)

集 合:参加者に連絡

行 程:大原野神社駐車場→小塩山→淳和天皇陵→

小塩山→大原野神社駐車場

山行目安: 体力 2、技術 2

地 形 図:1/25000 図「京都西南部」

担当者:中川 寛

申 込:11月23日(火)までに所定事項記入の上、

FAX またはメールで担当者まで。

忘年山行

コロナウイルスの感染状況をみて、忘年山行をどのよ うな形で行うか参加者で相談いたします。

日 時: 2021 年 12 月 28 日 (火)

担当者:中川 寛

申 込:12月7日(火)までに所定事項記入の上、

FAXまたはメールで担当者まで。

平日例会山行

野坂岳 913.3m

日 時: 2021 年 10 月 28 日 (木) 集合場所・時間: 参加者に連絡

行 程:湖西道路⇒ R161 ⇒ R303 ⇒ R8 ⇒いこいの 森駐車場→栃ノ木地蔵→行者岩→一ノ越(袖 地蔵) →一ノ岳→二ノ岳→三ノ岳→野坂岳 △ 913.3m (一等三角点 点名 野坂岳) →往

路下山→いこいの森駐車場

地 形 図:1/25000 図「敦賀」「駄口」

担当者・リーダー:田中昌二郎

申 込:10月20日(水)までに所定事項記入の上、 FAXまたはメールで担当者まで。

ろくろ山 662.5m と三十三間山 842.3m

天増川源流域・三重岳山塊を展望する

日 時:2021 年 11 月 11 日(木)

集合場所・時間:参加者に連絡

行 程:R367 朽木⇒保坂⇒熊川⇒倉見峠⇒林道(駐

車) → 369 → 635 → ろくろ山△ 662.5m (IV 点名 大石谷) → 692 →風神→三十三間 山△(Ⅲ 三十三間) →風神→倉見⇒林道

駐車地⇒倉見峠⇒保坂⇒朽木

地 形 図:1/25000 図「熊川」「三方」

行程距離:約 8.5km、標高差: ± 約 700m

山行の目安:体力 3、技術 3【注】少々藪漕ぎあり

担当者・リーダー:田中昌二郎

申 込:11月3日(水)までに所定事項記入の上、 FAXまたはメールで担当者まで。

忘年山行 沢山 519m・吉兆山・桃山

日 時: 2021 年 12 月 16 日 (木)

集合場所・時間:参加者に連絡

行 程:鷹峯→千東→上之水峠→沢山△→吉兆山→

桃山→仏栗峠→沢池→鳴滝→福王子

忘 年 会: 沢池畔にて持ち寄り忘年会 **地 形 図:** 1/25000 図「京都西北部 |

山行の目安:体力3、技術3 担当者・リーダー:田中昌二郎

申 込:12月8日(水)までに所定事項記入の上、

FAXまたはメールで担当者まで。

テント泊山行

赤兎山 1629m・大長山 1671m

加越国境尾根から白山連峰の大展望

目的の山域・山名:白山山系三ノ峰から延びる枝尾根 の西南西、白山越前禅定道小原峠の南に位 置する赤兎山と、小原峠の北に位置する加 越国境尾根の盟主大長山

日 時: 2021 年 10 月 9 日 (土) ~ 10 日 (日)

集合場所・時間:参加者に連絡

行 程:9日(土)勝山市小原⇒小原林道終点駐車

場 テント設営泊

10日(日) テント地→小原峠→大船山分岐 →赤兎山往復→小原峠→刈安山→奥大長谷 の頭→大長山往復→小原峠→テント地

地 形 図:1/25000 図「願教寺山」「加賀市ノ瀬」

山行の目安:行程約 9km、実動約 5 時間程度(体力 3、

技術 3)

担 当 者:田中昌二郎

申込期限:9月24日(金)までに所定事項記入の上、

FAX またはメールで担当者まで。

「未知の山旅シリーズ」(第9回)

日 時: 2021 年 10 月 16 日 (土) ~ 20 日 (水)

目的の山域:羽前・越後の山

担当者:笠谷 茂

申 込:8月末をもって終了

巨木探訪シリーズ

日 時: 2021年10月28日(木) 2021年11月25日(木)

担当者:山村孝夫

*行先、集合場所等については、担当者に問い合わせること。

秋のスケッチ 比良堂満岳を描く

日 時: 2021 年 10 月 12 日 (火)

集 合:JR 近江舞子駅 午前 10 時 00 分

担 当:山田 和男

申 込:10月5日(火)までに所定事項記入の上、葉書、 FAX またはメールで担当者まで。

> 尚、10月11日(月)午後6時の滋賀県の 天気予報が降雨確率50パーセントを超える ときは中止します。

歴史と文化の山旅 大江山

2021年11月6日(土)~7日(日)

記念講演 八木透仏教大学教授 「大江山と鬼伝説」(仮題)

宿 泊 大江山「あしぎぬ大雲の里」京都府福知山 市大江町北有路 1936 電話 (0773)-57-0168

参加費 一人 10000円 (現地集合・現地解散 1泊 2食 大江山登山昼食弁当含む)

行 程

11月6日 (土) 13時 あしぎぬ大雲の里 集合

14時 記念講演 八木透氏(民俗学 者・仏教大学教授)「大江 山と鬼伝説」(仮題)

18 時 夕食懇親会 (アルコールは自 粛)

11月7日(日) 大江山登山 (大江山鬼の博物館から鬼嶽稲荷神社経由千丈ヶ嶽往復)

※昨年、中止になりました他支部との交流会は京都・ 滋賀支部主催で感染対策に配慮して実施します。詳 細は参加者に連絡します。支部の要項でお申し込み 下さい。申し込み締め切りは10月15日(金)まで。

(申し込み)

伊原 哲士

日本山岳会京都滋賀支部山水会講演 「野生の山へ~北海道の山・奥美濃の山」のお知らせ

主催 (公) 日本山岳会京都・滋賀支部

共催 同志社大学山岳会

協力 (公) 日本山岳会東海支部技術向上委員会

記

1 日時: 2021年10月16日(土)13:15~17:00 (13:00開場)

2 場所:同志社大学新島会館大ホール 京都市上京区寺町通丸太町上ル(京都御所東) 会場には駐車場がありません。車の場合は近くの 有料駐車場をご利用ください。

- 3 講演会次第
- 13:15 ~ 主催者挨拶 京都滋賀支部長・松下征文 氏
- 13:30 ~ 14:30 米山悟氏

演題「北海道式の山の登り方 北の山への誘い(北の山のイグルー技術考察)」

1964年松本市生まれ。北海道大山岳部 OB、NHK の山岳カメラマン。札幌、長野、東京、名古屋、函館、青森、甲府、豊橋、松本、名古屋と転勤し、東日本全域を登る。2016年10月『冒険登山のすすめ』(ちくまプリマ―新書)上梓。SNSサイト「ヤマレコ」に全ての登山記録を登録、人気を博す。また「イグルスキー米山」としてイグルー技術を講演会やSNSで紹介している。その筋のファンも多い。

● 14:40 ~ 16:40 清水克宏氏

演題「京都岳人が拓いた奥美濃の道なき山の今(『森の国水の国 岐阜百秀山』出版にあたって)」

1958年大垣市生まれ。日本300名山、全都道府県最高峰、日本全国800以上の山、海外の山にも登山。現日本山岳会東海支部技術向上委員長、大垣山岳協会常任理事。5年間かけて岐阜県の全454山のうち道なき山を多数含む200山あまりを踏査し、2021年5月『森の国水の国 岐阜百秀山』(ナカニシヤ出版)上梓。

- 16:40 ~ 17:00 質疑応答及び閉会挨拶・同志社大学 山岳会会長大日常男氏
- 4 申込方法 定員 150 名になり次第締切ります。(入 場無料)

以下のアドレスへ、「氏名、所属(JAC 会員は会員番号)、緊急連絡先」を添えてメール・ハガキ等で申込下さい。マスク着用・発熱の無いことなど感染防止対策を、その時の社会状況に応じて自己責任にてご確認の上、ご参加ください。また緊急事態宣言の発令などの場合は、主催者の判断にて中止する場合もあります。ご了承ください。

● (申込み及び問い合わせ先) 日本山岳会京都・滋賀支部事務局

会務報告 支部役員会

第 424 回支部役員会

2021年5月12日(水) 18:30~19:15 LINE会議 出席:13名 欠席:14名

「報告」

4月に実施された支部総会、第1回健幸登山教室・ 北小松人工壁講習会、平日例会山行・八草峠、歴史 と文化の山旅・馬見丘陵、比良シャクナゲ山行、テ ント泊山行・火燈山について報告。

支部長・事務局長報告

4/10 開催の全国支部連絡会議、JAC120 周年記念事業、 友の会入会申込者について報告。

「計 画」

5月に実施予定の山行計画について協議・承認。

「その他」

古道調査の進捗状況について協議。

第 425 回支部役員会

2021 年 6 月 2 日 (水) 19:10 ~ 19:45 LINE 会議 出席:12 名 欠席:15 名

「報告」

5月に実施された歴史と文化の山旅・明日香村、春 のスケッチについて報告。

支部長・事務局長報告

最近の遭難事例等について報告。

会計報告

特別事業補助金、支部だより広告料、支部会費納入 状況について報告。

「計画」

6月に実施予定の山行計画について協議・承認。

「その他」

本部より、当支部担当の第一次調査対象古道のリストが届いた。鯖街道、根平越え(千種越え)、比叡修 行道が対象。

第 426 回支部役員会

2021年7月7日 (水) 18:30~19:45 (於) 鴨沂会館 (LINE 併用)

出席:14名 欠席:13名

「報告」

6月に実施された平日例会山行・金糞岳〜白倉の頭 〜五郎の頭、山歩会・朝日山〜丁塚山、巨木探訪に ついて報告。

支部長・事務局長報告

6/19 に開催された JAC 総会、NHK での金勝アルプスの紹介、本会員・友の会会員への入会者及び退会者紹介、最近の遭難事例紹介が行われた。

会計委員報告

21 年度支部会費の入金状況報告。

「計 画」

7月に実施予定の山行計画について協議・承認。

「その他」

古道調査活動、山水会開催について協議。

─次号 145 号 予告 ─

2021年12月15日発行 原稿締切10月31日(日) 原稿送付先 編集担当 幣内 規男

— 多 L が 章 —

この編集をしているとき家の TV はオリンピックの放送をしている。新型コロナウィルス感染症の緊急事態宣言下の開催について様々な論議がなされたが、選手の活躍が多くの感動を生んでいる。クライミング等の新種目が子供たちの目に触れ普及に役立てればと思う。

次回のパリでは e-sports が登場するそうだ。私 がもつスポーツの概念が覆ってしまうおもいだ。

日本山岳会京都・滋賀支部会報 「支部だより144号」

発行所 〒525-0072 草津市笠山3-6-6

松下征文方

日本山岳会京都·滋賀支部

発行者 松 下 征 文 編集者 山 田 和 男

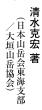
印 刷 〒603-8148 京都市北区小山西花池町 1-8

(株) 土倉事務所

TEL 075-451-4844 FAX 075-441-0436

催 10 16 同志社大学新島会館大ホール

0) 国水の E



予定)

草直秀山

柴田昭彦

オ塔めぐりを付した旗振り山探索記。実際に見された旗振り場に加え、航空灯台跡地・ラジ によって伝達された。前著『旗振り山』以降に発大阪堂島の米相場は見通しのよい山上で旗振り 登ってみるためのコースガイドも付す。 3、300円

ヒマラヤの 東 最後の辺境

中村保

著

域」を、長年の踏査によってまとめた大型写真集。本の大河が接して流れる世界遺産「三江併流地最後の辺境に残された「無数」の未踏峰と、三 オールカラー 226頁 8、800円





電話 075-723-0111 FAX 075-723-0095

〈表示は税込価格です〉

ナカニシヤ出版

画期的な魅惑の写真集。 写真の数々に山座同定を付した、ヒマラヤファンには

航空機から撮影した未知の大地の高峰群の貴重な

オールカラー 234頁 8、800円

FLYING OVER THE HIMALAYA

中村保著

〒606-8161 京都市左京区一乗寺木ノ本町 15 http://www.nakanishiya.co.jp/



【木津屋橋本店】

〒600-8248

の調査などす 仲国でも出版中国でも出版

地理的探査の記録、登山報告、

版されていない精密な地図、 されていない精密な地図、探クロス装352頁 11、000円

チベットのアルプスとその彼方

ntain Peak Maps

义 帳

調査などすべて網羅。

好評につき重版!

京都市下京区大宮通木津屋橋下ル 営業時間:10:00~19:00

日:無休(年末年始および夏期)

1F/===== 075-341-7702

075-341-7703

【久世店(オーダーフレーム工場)】 〒601-8205

京都市南区久世殿城町 162 営業時間:10:30~18:00 日:每週水曜日·木曜日 休

TEL: 075-921-8679





●旧会員証でも構いません ●

日本山岳会 会員証のご提示で 店頭価格から御値引いたします!

> ※特価品・SALE 品は対象外です。 詳しくはスタッフまで!

取扱い ブランド

≪inelli DOLAN PINARELLO **Uvittoria** Willier Y SSCOTT Frocus